

ドロエチ® 配合錠「バイエル」を処方された方へ

本剤は月経困難症のお薬です。避妊目的で使用することはできません。

■ドロエチ® 配合錠「バイエル」を飲み始めるタイミング

初めてお飲みになる方

▶ 「月経が始まった日」から飲み始めます

他の黄体ホルモン・卵胞ホルモン配合薬から切り替えられる方

休薬期間のあるタイプからの切り替え

プラセボ*のあるタイプからの切り替え

▶ 休薬期間の翌日から飲み始めます

▶ プラセボを飲み終えた翌日から飲み始めます

*お薬の成分が入っていない錠剤

■ドロエチ® 配合錠「バイエル」の服用方法

- 1日1錠、毎日一定の時刻に、錠剤シートに記載の番号に従って服用してください。
- 通常25～28錠目の白色の錠剤（お薬の成分が入っていないプラセボ錠）を服用中に、月経のような出血（消退出血）が始まり、5～6日程度続きます。
- 出血が終わっていても続いていても、28錠すべて飲み終わったら翌日から新しい錠剤シートを飲み始めてください。

服用中の生活について

● 禁煙について

このお薬を服用している間は、喫煙により静脈血栓症、肺塞栓症、心筋梗塞、脳卒中等が発生しやすくなるという報告があります。この機会に、禁煙についても検討することをおすすめします。

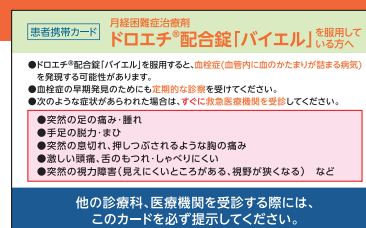
● 定期的な診察を受けましょう

治療の経過や全身の状態を確認するため、医師の指示に従い、定期的な診察を受けましょう。

患者携帯カードについて

このカードには、血栓症に関する注意事項が記載されています

ドロエチ® 配合錠「バイエル」を服用中は、患者携帯カードを常に持ち歩き、他の診療科、医療機関を受診する際は必ず医師に提示してください。



下記の症状は血栓症※が疑われる症状です

次のような症状があらわれた場合は、飲むのをやめて**すぐに救急医療機関を受診**してください。

- 突然の足の痛み・腫れ
- 手足の脱力・まひ
- 突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み
- 激しい頭痛、舌のもつれ・しゃべりにくい
- 突然の視力障害（見えにくいところがある、視野が狭くなる） など

次のような症状があらわれた場合は、血栓症の疑いがあります。症状が軽くても飲むのをやめて**すぐに医師に相談**してください。

- 足の痛み・腫れ・しびれ・発赤・ほてり、頭痛、嘔吐（おうと）・吐き気 など

次のような状態になった場合、飲むのをやめて**すぐに医師に相談**してください。

- 体を動かさない、脱水 など

長時間同じ姿勢でいたり、水分が不足したりすると血栓症が起こりやすくなります。適度に体を動かしたり、こまめに水分をとるようにしましょう。

※血栓症とは：血管内に血の塊（血栓）が詰まる疾患で、医療機関での早急な対応が必要です。
静脈血栓症としては、深部静脈血栓症・肺塞栓症（いわゆるエコノミークラス症候群、ロングフライト症候群）などがあります。

以下のときは、医師に相談・報告してください

- 一番下の段の白色の錠剤を飲み終わっても出血が来ないとき。
- 激しい下痢または嘔吐が続くとき。
お薬の成分が吸収されにくいことがあるので、医師または薬剤師に相談・報告してください。
- 飲み忘れなど何らかの理由により妊娠の可能性が疑われるとき。
月経が2周期連続して来なかった場合は、医師の診察を受けてください。
- このお薬を服用する前から服用しているお薬がある、またはこのお薬を服用している間に他のお薬を服用するとき。
飲み合わせについて、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 臨床検査を受けるとき。
- 妊娠を希望するとき。
- その他気になる症状があるとき。

服用を始めて1～2周期は下記の症状があらわれることがあります

- 頭痛 ● 軽度の吐き気 ● 周期の途中に起こる軽度の出血 など

これらの症状は、特に飲み始めによく現れますが、通常は用法・用量に従って飲み続けるうちにみられなくなります。しかし、ひどい場合や長く続くときは、医師に相談してください。

その他、身体に何か異常を感じたときは医師または薬剤師に相談・報告してください。